ブロッコリーの栽培体験
第1回（植え付け）を開催しました！

開催概要

開催日：2026年9月12日（土）

開催時間：16時～17時30分

開催場所：清水農園（東京都立川市砂川町）

参加者：都内在住の方（11組26名）

当日の様子

■ ブロッコリーに関する講義

参加者の受付後、農園主より挨拶があり、配布資料を用いながらブロッコリーの由来や生育過程、品種、栽培方法についての講義が行われました。品種ごとの特徴についても紹介され、「おはよう」「こんにちは」「こんばんは」というユニークな名前の品種があることが説明されると、参加者からは驚きや笑いの声が上がりました。

今回の体験で植え付けるのは「こんにちは」という品種であることが説明され、品種によって色や生育日数、おすすめの調理方法が異なることも学びました。配布資料にはさまざまな品種の写真や特徴が掲載されており、参加者の皆様は興味深そうに資料へ目を通しながら、熱心に話を聞いていました。





■ 植え付け体験

前日までの雨の影響で一部の畑に水分が残っていたため、状態の良い区画で体験を実施しました。参加者は、種から約1か月かけて育てられたブロッコリーの苗を、一人3株ずつ植え付けました。目印の位置の土を指で掘り、苗を植えた後、優しく土をかぶせる作業を行います。農園主から植え付けの方法を教わりながら、参加者は丁寧に作業を進めていました。

植え付け終了後は、別の畑で栽培されている「おはよう」という品種も見学しました。その際には、立川市内でも地域によって栽培に適した作物が異なることや、南部では水田、北部では畑作が盛んであることなど、地域農業についての説明もありました。最後は、農園でためた雨水を利用して長靴の泥を洗い流し、体験会は終了となりました。

参加者からは、「楽しかった」「収穫は来年1月ですね」といった声が聞かれ、収穫体験への期待を膨らませている様子がうかがえました。今回の体験会では、ブロッコリーの特徴や栽培方法について学びながら、実際に苗の植え付けを体験しました。参加者にとって、農作物が育つ過程や地域農業への理解を深める貴重な機会となり、収穫への期待が高まる体験会となりました。





